

(社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 24 年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	美しい山形・最上川フォーラム	川にやさしい浄化槽フォーラム埼玉
代 表 者	会長 柴田 洋雄	代表 大石 昌男
所 在 地	山形県山形市緑町 1-9-30 緑町会館	埼玉県戸田市南町 3-20
事 業 内 容	<p>「身近な川や水辺の健康診断」</p> <p>1. 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「身近な川や水路の水質が知りたい」という県民の声に応えるため、誰もが参加しやすく、わかりやすい水質調査を平成14年度から毎年実施。水のにごりや富栄養化(窒素・リン)の問題への理解と関心を高める。</li> <li>・簡単な水質調査キットを使って調べる活動を通じて、河川への関心を深め、生活との関わりを理解し、水環境の大切さや改善したい課題を発見することで、水質や水の循環、動植物の生息環境の保全や改善のための取組みにつなげていく。</li> <li>・調査結果はホームページや報告資料で公表し、情報の共有や地域ごとの課題解決の材料として活用することを期待する。</li> </ul> <p>2. 内容</p> <p>(1) 参加グループ数：100グループ、調査地点250地点を想定</p> <p>(2) 調査の実施期間：6月2日(土)～6月10日(日)</p> <p>※学校の授業・部活動等で実施する場合のみ、6月2日(土)～7月20日(金)</p> <p>参加者は、期間内で都合の良い目時に希望の場所にて調査活動を行う。</p> <p>(3) 調査項目</p> <p>①パッカテスト6項目(パッカテストや調査マニュアル等は当フォーラムが提供。)</p> <p>(pH、COD、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、リン酸性リン)</p> <p>②川の概要(水温、川幅、水深等)</p> <p>③1メートル透視度計による透視度測定(貸し出しを行う)</p> <p>④水辺環境の目視調査(自然植生、泡立ち、散乱ゴミ等)</p> <p>⑤水生生物調査(主催：山形県環境科学研究センター)</p> <p>※調査を希望する団体のみ最上川フォーラムを通して申込み可能とする。</p> <p>⑥公定法調査実施機関に対して、大腸菌群数調査も合わせて依頼</p> <p>(4) 調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施グループより6月15日(※学校関係は、7月27日)まで報告書を提出してもらい、データを集計する。</li> <li>・調査結果を総合的に分かりやすく表すために、清流指標「水辺診断書」(五角形によるレーダーチャート)を作成し評価。</li> <li>・11月頃にホームページにて結果を公表すると共に、年度末に作成する報告書に記載。</li> </ul> <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パッカテストによる調査にあわせて、一般財団法人理化学分析センター、株式会社理研分析センターほか環境分析関係事業所の協力を得て、同一地点において公定法調査も実施し、パッカテストの精度の参考としている。</li> <li>・上記環境分析関係事業所からは、初めて参加するグループ等へ現地調査サポートの協力をうけ、専門的な分野からの水環境に対する啓蒙活動も行う。</li> <li>・水環境向上の活動をしている団体の成果を発表する「もがみがわ水環境発表会」を11月に開催し、希望団体へ成果発表の場を設ける。また、水環境向上へ向けた具体的な活動を実施し、長年調査に参加している団体は「美しい水辺づくり功労賞」として表彰。</li> </ul>	<p>浄化槽フォーラム地域協議会の実施</p> <p>1. 目的</p> <p>合併処理浄化槽への転換と11条検査率の向上</p> <p>2. 内容</p> <p>浄化槽フォーラム地域協議会を立ち上げ全県63市町村のうち、18で実施する。</p> <p>登録業者に清掃、保守点検と11条検査の推進の役割を求める。設置者に対して講習会をこまめに開催する。</p> <p>23年度実施市町村</p> <p>7月 春日市</p> <p>8月 川口市、戸田市</p> <p>11月 秩父市、小鹿野町、横瀬町、皆野町、長瀨町</p> <p>1月 坂戸市、鶴ヶ島市、越生町、毛呂山町、鳩山町</p> <p>2月 蓮田市、白岡町、鴻巣市、八潮市</p> <p>以上17市町村で完了</p> <p>24年度実施予定市町村</p> <p>本庄市、上里町、神泉町、北本市、美里町、上尾市、桶川市、伊奈町、行田市、寄居町、越谷市、吉川市、松伏町、東松山市、吉見町、川島町、幸手市、熊谷市、小川町、嵐山町、滑川町、東秩父村、草加市、川越市、さいたま市</p> <p>飯能市、日高市、入間市、狭山市、所沢市、和光市、新座市、朝霞市、志木市、三芳町、加須市、久喜市、宮代町、杉戸町、三郷市、羽生市、富士見市、ふじみ野市、蕨市</p> <p>以上44市町村が予定されている</p>
事業実施期間	平成 24.4 ～ 25.3	平成 24.4.1 ～ 25.3.5
事業実施場所	山形県内全域	市町村が指定する場所
事業総額	578,600円	638,000円
助成金額	200,000円	200,000円

## (社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 24 年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	認定特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会	上林川を美しくする会
代 表 者	理事長 野中 光男	会長 川端 勇夫
所 在 地	東京都新宿区市谷本村町3-18 エムズビル5階	京都府綾部市野田町須知山 110-10
事 業 内 容	<p>水道水供給システムの修理・建設及び地元住民参加による水道組合の組織</p> <p>1. 目的 タンクや接続パイプが使用不可となり、ほぼ全家庭が深刻な水問題を抱えている。そのため安全な水が供給されず、村人が腹痛になったり、女性や子どもが重労働を強いられている。</p> <p>2. 内容 日程 7月：現地住民との協議・建設業者の選定 8月：備品調達・水道組合設立・資材調達 9～11月：掘削作業・給水パイプ敷設・水タンク建設・試運転 12月：現地住民訓練（事業の持続性に繋がる）</p> <p>期待される効果 ①安全・良質な水を確保し、水に起因する疾病を予防する。 ②女性を水汲みの重労働から解放する。 ③村人の飲料水購入費をなくし、経済的負担を減らす。 ④村人による水道組合の組織化で、事業の持続運営を可能とする。 ⑤村を離れた若者が水資源確保により村の経済活動に希望を抱いて回帰し、村が発展する。</p>	<p>上林川を調べて・知って、守り育てる活動事業</p> <p>1. 目的 京都府内有数の清流として知られている上林川が、近年生活排水の流入などにより、水質の悪化を懸念されている。流域の住民、市民、行政の協働により上林川に清流をよみがえらせ、子供たちに引継ぐことを目的とし、継続して活動を実施している。</p> <p>2. 内容 ①上林川の水質等の調査分析、水生生物・魚類の調査を実施し、上林川の現在の状態を把握する。 ②一般市民の協力、参加も得て、いっしょに上林川流域の葎刈り作業や清掃活動を実施することにより、上林川の景観の美化を図る。 ③会報等で積極的に上林川の情報を発信するとともに、水環境保全の啓発を行う。 ④雑排水浄化に向けて、アンケート活動等を実施し、浄化槽設置促進に努める。</p>
事業実施期間	平成 24. 7. 1 ～ 24. 12. 31	平成 24. 5 ～ 25. 3. 31
事業実施場所	パキスタン国 マリー地区 ポタシャリフ村	綾部市地内
事業総額	200,000円	855,000円
助成金額	0円	150,000円

## (社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 24 年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	みなみから届ける環づくり会議	全国水源の里連絡協議会
代 表 者	議長 鎌田 磨人	会長・佐伯市長 西嶋 泰義
所 在 地	徳島県阿南市領家町野神 319	大分県佐伯市中村南町 1 - 1
事 業 内 容	<p>地域の河川調査, 水浄化施設の見学, 水の浄化実験等を通しての環境保全学習</p> <p>1. 目的 「みなみから届ける環づくり会議」は平成 18 年から, 産官学民の協働体であり, 地域の環境課題に対して, 地域が一体となって解決を目指す活動を継続している。本事業では地元の企業や阿南高等専門学校と連携して, 子供たちが環境問題に気づき, その水環境の保全にどのような活動が必要か考え, 行動する学習体験を推進する。</p> <p>2. 内容 ①地域の河川調査, 水浄化施設の見学, 水の浄化実験等を通して環境保全について学習する。 ②地域ネットワークを広げる PR 活動</p>	<p>情報誌「水の源」発行事業</p> <p>1. 目的 「上流は下流を思い, 下流は上流に感謝する」の理念のもと, 水源の里地域における振興と水環境等の保全に取り組む全国の自治体が連携し, 水源の里振興の理念を国民運動として広げていく。</p> <p>2. 内容 森林や水環境保全に大きな役割を果たす水源の里地域の情報発信, 交流, 連携を図るため, 情報誌を発行する。</p> <p>※名 称 「水の源」 (みずのみなもと)</p> <p>※目 的 ①水源の里の理念を全国に展開していく。 ②集落の情報を全国に発信していく。 ③下流 (都市部) の皆さんの理解と協力を求めるとともに, 交流を推進する。</p> <p>※発 刊 年 4 回</p> <p>※部 数 3,000 部</p>
事業実施期間	平成 24. 4. 1 ~ 25. 3. 31	平成 24. 8 ~ 25. 3
事業実施場所	阿南市内	全国
事業総額	200,000円	2,580,000円
助成金額	100,000円	150,000円

## (社) 全国浄化槽団体連合会 「平成24年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	(公社) 北海道浄化槽協会	(公社) 宮城県生活環境事業協会
代 表 者	会長 的場 中	会長 佐藤 佑
所 在 地	北海道札幌市豊平区平岸五条 7-7-10	宮城県仙台市宮城野区日の出町 2-5-15
事 業 内 容	<p>浄化槽啓発用ポスター及び標語の募集並びにポスターの制作</p> <p>道内在住の小・中学生を対象とした浄化槽に関する啓発用ポスターを募集するとともに、優秀作品を環境パネル展等で公表・掲示する。また、併せて標語についても、年齢制限をせずに募集する。</p> <p>入選したポスターの4作品及び標語の1作品については、啓発用のポスター及びクリアファイルとして作成し、広く道内の自治体や会員企業等を通して浄化槽の普及啓発を行う。</p> <p>なお、ポスター等募集にあたっては、浄化槽の説明資料を添付し、多くの道民に浄化槽を知る機会と参加を誘導する。</p>	<p>環境フェアや産業祭り等への参加にともなう普及啓発活動</p> <p>1. 目的 県内市町村で開催される環境フェアや産業祭り等に参加し、県民に浄化槽の普及啓発をはかり、水環境保全の重要性をアピールするもの。</p> <p>2. 内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>顕微鏡による微生物観察</li> <li>浄化槽カットモデル・ミニモデルによる浄化槽の仕組みの解説</li> <li>ターポリン幕やパネルによる浄化槽や水環境保全の解説</li> <li>パンフレットの配布</li> </ol>
事業実施期間	平成24.4.1 ~ 25.1.30	平成24.9 ~ 平成24.11
事業実施場所	北海道庁1階ロビー	仙台市、栗原市、登米市等
事業総額	431,900円	499,380円
助成金額	123,000円	123,000円

## (社) 全国浄化槽団体連合会 「平成24年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	(社) 茨城県水質保全協会	(社) 群馬県浄化槽協会
代 表 者	理事長 安斉 猛男	会長 小倉 喜八郎
所 在 地	茨城県水戸市石川 1-4043-8	群馬県前橋市大友町 2-29-21
事 業 内 容	<p>「霞ヶ浦環境科学センター夏まつり 2012」「水戸市環境フェスタ 2012」「茨城町涸沼環境フェスティバル」開催に伴う浄化槽の啓蒙活動</p> <p>1. 浄化槽の模型展示 2. 浄化槽普及啓発パンフレットの配布 3. 浄化槽に関するパネル展示 4. 生活排水に関するクイズの実施 5. 水を汚さない為の工夫のチラシ配布 6. 浄化槽紙芝居の実演</p> <p>平成24年度イベントの概要について</p> <p>1. 霞ヶ浦環境科学センター夏まつり 2012について 日時：平成24年8月25日（土）10：00～15：30 場所：霞ヶ浦環境科学センター</p> <p>2. 茨城町涸沼環境フェスティバルについて 日時：平成24年10月上旬 場所：茨城町涸沼自然公園</p> <p>3. 水戸市環境フェスタ2012について 日時：平成24年9月30日（日）10：00～16：00 場所：借楽園公園 四季の原</p> <p>出展内容等について</p> <p>(1) 高度処理型浄化槽の展示 (2) パンフレット配布（浄化槽のしおり、出展メーカーパンフレット） (3) 浄化槽紙芝居（茨城大学紙芝居研究会実演） (4) 生活排水に関するクイズ (5) 生活排水に関するパネルの展示 (6) 生活排水に関するチラシの配布 (7) ポスターコンクール</p> <p>景 品 クイズ用 400個 紙芝居用 240本</p>	<p>身近な河川水質調査</p> <p>1. 目的 本調査は、地域住民の生活に身近な河川、水路等（以下、「身近な河川」という。）の水質を長期継続して測定することにより、浄化槽の設置推進が生活排水対策として効果的であり、公共用水域の水質の保全もしくは改善に寄与することを実証するために行う。 調査の結果は、毎年開催される「環境森林フェスティバル」及び「水よみがえれ！キャンペーン」等の場において発表する。</p> <p>2. 内容</p> <p>①選定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽整備事業（「市町村設置型」・「個人設置型」）実施の市町村に関係する身近な河川を原則とし、当該市町村の整備計画等をあらかじめ把握し参考とする。</li> <li>・群馬県が環境白書に発表した環境基準未達成河川に流入する身近な河川を対象とする。</li> <li>・家庭雑排水等以外の汚染源（豚房、工場等）がある身近な河川は対象としない。</li> </ul> <p>②調査対象（身近な河川）の数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・24以内（12支部 各2川）</li> </ul> <p>③調査の方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採水箇所は、1河川につき、汚染に関する生活区域を想定（以下、「一定区域」という。）し、上流部下流部1箇所ずつとし、定点とする。</li> <li>・定点における採水及びその分析は、年1回とし、当面平成21年度より10年間継続する。</li> <li>・水質分析項目は、生物化学的酸素要求量（以下、「BOD」という。）とする。</li> <li>・採水は、「採水記録票」に必要事項を記入する。</li> <li>・当該一定区域内の浄化槽等（単独：合併：くみ取り）の設置状況の変化の把握に努める。</li> <li>・採水作業は、当該一定区域に関係する当協会の維持管理部会員もしくはその従業員が行う。</li> </ul> <p>④水質結果の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基準値を参考とする。</li> <li>・群馬県環境白書に発表されている河川の水質結果を参考とする。</li> </ul> <p>⑤その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水質の分析は、計量証明事業場に委託して行う。</li> <li>・試料は直ちに保冷し分析機関に搬入する。</li> </ul>
事業実施期間	平成24.8.25、平成24.9.30、平成24.10月上旬	平成24.8.1～25.2.28
事業実施場所	霞ヶ浦環境科学センター、借楽園公園、茨城町涸沼自然公園	群馬県内
事業総額	399,900円	426,000円
助成金額	122,969円	123,000円

## (社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 24 年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	(社) 東京都生活水環境システム協会	(社) 富山県浄化槽協会
代 表 者	会長 高橋 静雄	会長 島 小一
所 在 地	東京都日野市日野本町 455 HS ビル3階	富山県富山市総曲輪 2-1-3 富山商工会議所ビル 別館 7階
事 業 内 容	<p>「防災拠点における浄化槽の活用について」行政機関への提言資料の作成</p> <p>1. 目的 東日本大震災や台風、豪雨による大災害が頻発するようになりました。更に首都直下地震の発生も近いといわれています。 現在、東日本大震災により被災された人々が仮設住宅を使用されているところではありますが、設置された浄化槽の数は平成 23 年 7 月時点で 1,484 基余りです。 仮設住宅は 2 年以内の貸与期間であり、従来期間経過後は、法律により転用等の目的外使用が認められず廃棄物として処理されていました。 その後、厚生労働省告示第 384 号により再利用の道が開かれたところであり、2 年後に撤去される浄化槽の再利用の方法として、都内の防災拠点に移築し、災害時に活用する方法をワーキングチームを立ち上げて検討し、その成果を小雑誌にまとめ、東京都をはじめ各行政機関に提言し、今後の災害発生時に役立つものであります。</p> <p>2. 内容 (1) 浄化槽を避難場所に設置し災害時に対応する。 (2) ライフライン復旧前での浄化槽による対応策 (3) 浄化槽の貯水能力を活用した対応策 (4) 下水道が使用できない状況時での浄化槽による対応策 (5) 地下水の汚染防止策としての浄化槽による対応策 (6) 設置浄化槽の通常時、災害時、災害後の管理方法及び災害協定による運用</p>	<p>「とやま環境フェア 2012」への出展に伴う浄化槽の普及啓発</p> <p>1. 目的 富山県、(財) とやま環境財団等が主催する「とやま環境フェア 2012」に浄化槽普及コーナーを出展し、浄化槽と水の大切さなどについて普及啓発する。(環境フェア来場見込み数 1 万人)</p> <p>2. 内容 日時と場所 (予定) 日時：平成 24 年 10 月 20 日 (土)、21 日 (日) 午前 10 時～午後 5 時 場所：高岡テクノドーム ((財) 富山県産業創造センター) 富山県高岡市二塚 322 番 5</p> <p>出展概要 環境フェアの会場に、浄化槽ミニモデルなどを展示し、来場者に対して浄化槽について説明するなど浄化槽の良さと、安心・安全を訴える。 (1) 展示し説明するもの ①ミニ浄化槽の模型を製作し展示 ②浄化槽パネルの展示 ③東日本大震災の現地写真の展示 (当協会の役員が現地視察した時のもの等) (2) 配布するもの ①浄化槽普及啓発用パンフ ②景品 ・ポケットティッシュ (水に流せるもの、法定検査普及用紙入り) ・水きりネット ・クリアファイル など (3) 体験してもらうもの ①顕微鏡で微生物を観察 ②生活排水に関するクイズに挑戦</p>
事業実施期間	平成 24.2 ～ 24.9	平成 24.10.20 ～ 24.10.21
事業実施場所	東京都内	高岡テクノドーム ((財) 富山県産業創造センター)
事業総額	515,500円	574,400円
助成金額	200,000円	200,000円

## (社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 24 年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	(一社) 山梨県管工事協会	(社) 静岡県浄化槽協会
代 表 者	会長 雨宮 正	理事長 加藤 敬規
所 在 地	山梨県甲府市下石田 2-30-25	静岡県静岡市駿河区中田本町 2-10 A101
事 業 内 容	<p>浄化槽総合講習会「コンパクト型浄化槽についての研修」開催</p> <p>1. 目的 現在では、総出荷台数の90%以上は性能評価型(小型)の浄化槽という状況にあります。ついては、浄化槽に携わる業界関係者、設置者及び行政担当者が、このコンパクト型浄化槽について(財)日本環境整備教育センターの講師や浄化槽メーカー2社からの説明。そして、山梨県の担当部局や検査機関からのお話。等々をお聞きいただき、今日に於ける浄化槽についての知識と技術力の向上を目的とする。</p> <p>2. 内容 1. 主催: 山梨県(森林環境部大気水質保全課) (社) 山梨県管工事協会 (社) 山梨県浄化槽協会 2. 開催日時: 平成 24 年 11 月〇〇日 午後 1 時 30 分から午後 5 時 00 分 3. 開催場所: 県立 文学館 講堂 4. 講師: (財) 日本環境整備教育センター 講習会事業グループリーダー 久川和彦氏 5. 講習内容: (1) 「性能評価型小型浄化槽の適正な設置、保守点検及び清掃について(主にコンパクト型浄化槽について)」 (2) メーカー2社: フジクリーン工業株式会社及びアムズ株式会社による「自社のコンパクト型浄化槽について、留意すべき点の説明」 (3) 「浄化槽法第 11 条検査への BOD 検査の導入について」 (4) 「浄化槽の法定検査について」 6. 参加対象者: 市町村担当者 (社) 山梨県管工事協会会員 (社) 山梨県浄化槽協会会員 山梨県保守点検登録業者 浄化槽業界関係者・・・ハウスメーカー 他 浄化槽管理者(浄化槽を実際に使う人)</p>	<p>「静岡県住まい博 2012」出展に伴う浄化槽の普及啓発</p> <p>1. 目的 「静岡県住まい博 2012」を開催し、県民へ最新で良質な幅広い住まいの情報を提供し、「豊かさ」を実感できる住生活の実現を図ると共に、住宅需要を喚起して住宅産業・住宅関連産業の振興を図っていきたくと考えております。</p> <p>2. 内容 (1) 小型合併処理浄化槽の実物大カットモデル及び浄化槽のミニチュアモデルの展示 (2) 浄化槽に関するパネルの展示 (3) 浄化槽普及啓発パンフレットの配布 (4) 浄化槽に関する相談コーナーの配置</p> <p>事業概要 開催日: 平成 24 年 9 月 15 日(土)～17 日(月・祝) 午前 10 時～午後 4 時 30 分 会場: ツインメッセ静岡・商館(静岡市駿河区曲金 3-1-10) キャッチ: 「考えよう! これからの住まい」 主催: 静岡県住まい博実行委員会(静岡県、静岡市、建通新聞社等 51 会員で構成)、静岡新聞社・静岡放送 後援: 国土交通省中部地方整備局、(独) 都市再生機構、(予定) (独) 住宅金融支援機構、(財) 住宅リフォーム・紛争処理支援センター、静岡県市長会、静岡県町村会、(社) 静岡県商工会議所連合会、静岡県商工会連合会、静岡県中小企業団体中央会、(財) 静岡県グリーンバンク</p> <p>企画・計画概要、告知展開 催事内容 【一般ブース】 ①住宅建設・販売 ②地震対策 ③インテリア・エクステリア ④マンション・不動産 ⑤リフォーム ⑥暮らし全般(住宅設備、防犯、介護・福祉、その他) 企画・催事 &lt;体験・展示コーナー&gt; 建築士紹介コーナー、学生作品展示、カンナ削り・丸太切り 子供菓子撒き、スタンプラリー&amp;抽選会、献血、地震体験車など &lt;相談コーナー&gt; 住まいに関する法律・融資などの無料相談コーナー &lt;その他&gt; レストコーナー、キッズコーナー、託児所、無料シャトルバス 他</p>
事業実施期間	平成 24. 11 月中旬	平成 24. 9. 15 ～ 24. 9. 17
事業実施場所	山梨県立文学館(講堂)	ツインメッセ静岡・南館
事業総額	215,760円	771,000円
助成金額	0円	123,000円

## (社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 24 年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	快適な生活環境を守る会	浜松ビオトープ研究会
代 表 者	青島 直久	齋藤 孝文
所 在 地	静岡県藤枝市稲川 440-3	静岡県浜松市中区東伊場 2-10-16
事 業 内 容	<p>小学生を対象とした「水環境教育」、「浄化槽普及啓発」事業の実施</p> <p>1. 目的 小学校に出向き、児童を対象とした水についての環境教育を計画しました。一般家庭で使われた水はどのようにして川に流され、自然へ返っていくかという水環境についての知識を習得し、水の大切さを学んでもらうことを目的とします。</p> <p>2. 内容 (1) 水の学習コーナー (2) 浄化槽のミニチュアモデルコーナー (3) 小型合併処理浄化槽の実物大カットモデルコーナー (4) 浄化槽ビデオコーナー (5) 浄化槽カルタ大会</p>	<p>ビオトープを通じた「普及啓発事業」</p> <p>1. 目的 ホタルの舞うビオトープを通して、生物の大切さと自然の保護について市民が考えるきっかけとなることを目的とする。</p> <p>2. 内容 (1) ビオトープ内にてホタルを飼育 (2) 園児、児童、学生によるホタルの幼虫放流会 (3) 園児、児童、学生への環境教育 (4) ホタル、カワニナ及びその他生物の生態観察 (5) その他自然保護活動</p>
事業実施期間	平成 24. 6. 19、24. 7. 17、24. 9. 4	平成 24. 3. 8、24. 5 月下旬
事業実施場所	牧之原市内小学校	浜松市中区神田町
事業総額	580,250円	557,384円
助成金額	200,000円	200,000円



## (社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 24 度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	(社) 京都府浄化槽協会	(一社) 兵庫県水質保全センター
代 表 者	会長 池田 泰造	会長 谷口 正
所 在 地	京都府京都市左京区岡崎円勝寺町 1-11	兵庫県神戸市中央区港島南町 3-3-8
事 業 内 容	<p>京都府内市町村の補助金申請書式集の作成</p> <p>住民に対する補助金自体の周知もさることながら、その申請手続きの情報公開が十分に図られていない。そこで、京都府下の市町村の補助金申請書式を集め様式集を作成し、補助金申請手続きを容易にし、府民が容易に浄化槽の補助申請ができるようにする。</p> <p>また、このような書式集を作ることで、市町村毎に内容も必要枚数も異なる補助金申請の書式が統一化され、複雑すぎる申請を簡単にできるようにするためである。</p>	<p>環境教育・浄化槽普及啓発パンフレットの印刷</p> <p>中学生を対象に「生活排水」と「水の循環」をテーマとした河川での河川での水質分析を行う環境教育を実施する。健全な水循環や公共用水域の水質保全に関して、各家庭等から河川への流入水が及ぼす影響を、調査検証することで浄化槽の普及を図る環境教育を行う。</p> <p>また、浄化槽の管理者等を対象とした浄化槽の適正な維持管理を推進するパンフレットを作成し、浄化槽管理者・行政・関係団体等に配布する他、イベント等で参加者に配布して浄化槽の普及啓発を図る。</p>
事業実施期間	平成 24.5 ～ 平成 24.9	(環境教育) 平成 24.8、(パンフレット作成) 平成 24 年秋
事業実施場所	京都府内	兵庫県三田市内の中学校 1 校
事業総額	525,000円	200,000円
助成金額	123,000円	61,500円

(社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 24 度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	(一社) 鳥取県浄化槽協会	(公社) 徳島県環境技術センター
代 表 者	会長 早瀬 一美	会長 松原 義輔
所 在 地	鳥取県鳥取市松並町 2-160 城北ビル 303	徳島県徳島市津田海岸町 2-33
事 業 内 容	<p>中海環境フェアへの参加</p> <p>1. 目的 中海の豊かな自然環境を街の活性化に生かし、「泳げる中海」を目指す為、中海再生プロジェクトの実施する環境の保全を図る事業に参加する。</p> <p>2. 内容 名称 中海環境フェア 主催 NPO法人中海再生プロジェクト中海体験クルージング実行委員会 共催 鳥取県(予定) 中海テレビ放送 目的 中海浄化に向け、より多くの市民に中海に関心を持って頂く 実施日 平成 24 年 8 月 19 日(日) 11:00~15:30 内容 ・中海環境フェア(会場:米子食品会館) ・各団体による中海の水質浄化を中心とした環境学習などの展示</p>	<p>「環境学習講座」「環境啓発イベント」の開催</p> <p>1. 目的 徳島県では、浄化槽の法定検査の受検率が低く、県民の汚水処理・水環境に対する関心の低さが長年の課題となっている。 そこで、環境保全に対する意識改革を推進すべく、子供を対象に、水環境問題を親しみやすい形で提起することにより、より身近なものとして受け入れ、関心を持ってもらうことを目的とする。さらに子供から環境問題を発信することにより、環境に対する関心の環が大人へ広がることも狙いである。 当法人が県内で開催している子供向けの「環境学習講座」「環境啓発イベント」は、環境学習プログラムに基づく体験型講習を中心に、環境問題をわかりやすく提起し、身近な水環境を守る為にどうすればよいか学習し実践してもらうものである。</p> <p>2. 内容 構成 小学生・中学生を対象とした環境学習では、当法人の職員が学校へ出向き、環境学習プログラムを基本に、生活排水が河川等の汚濁の原因であることについて講義し、実際に家庭から持ちよった汚水を水質検査にて確認。干潟生物による水質浄化・砂ろ過・浄化槽の構造、役割や微生物による浄化等について学習したのち、処理水の水質検査を実施。 プログラムの目的である、排水処理施設の重要性や、生活の中で汚濁負荷を減らすための方法について検討してもらい、水環境にやさしい暮らしの実践を推奨する。</p> <p>メニュー 座学 : パワーポイントを使用。浄化槽の構造や微生物の解説は学校の浄化槽をビデオ撮影したものや、採取した微生物を顕微鏡撮影したものを使用。 水質検査 : 透視度 pH パックテスト(COD リン アンモニア等) 溶存酸素 残留塩素 水質浄化実験: 干潟生物モデル・膜ろ過モデル(D I S M I C)・砂ろ過他</p>
事業実施期間	平成 24. 8. 19	平成 24. 7~ 25. 3
事業実施場所	米子食品会館	徳島県内
事業総額	114,417円	416,043円
助成金額	57,209円	123,000円

全国浄化槽団体連合会 「平成24年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団体名	(一財) 福岡県浄化槽協会	(公財) 大分県環境管理協会
代表者	理事長 三浦 正吏	理事長 安部 眞宏
所在地	福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬 966-2	大分県大分市大字寒田 409-40
事業内容	<p>浄化槽啓発用ポスターの募集並びにポスターの制作</p> <p>1. 目的 浄化槽の普及・啓発のため、県内の小学生を対象に浄化槽啓発用ポスター原画を募集し、優秀作品を県庁ロビーに展示する。 また、ポスターとして印刷し、広く県内に配布・掲示する。</p> <p>2. 内容 募集内容 「家庭から出る汚れた水をキレイにする浄化槽と水辺の環境」をテーマとしたポスター。 「浄化槽」を含む「ことば」、または「イラスト」を必ず入れて下さい。</p> <p>応募資格 福岡県内の小学生の皆さん</p> <p>応募方法 ポスター用原画 ①画材、縦横、デザイン等の表現方法は自由です。 ②用紙の大きさは、四つ折り画用紙。(画用紙は各自でご用意ください。) ③作品裏面の中央部分に氏名、学校名、連絡先を明記して下さい。(応募票を貼付) ④折り目が付かないように郵送して下さい。 学校で取りまとめて郵送される場合は、学校名、学年、氏名を記載した一覧表も併せて添付して下さい。</p> <p>締め切り 平成24年9月7日(金) 必着</p> <p>発表 平成24年9月14日(金) 入賞作品は平成24年10月1日から同月5日まで、県庁1階ロビーで開催するポスター展にて展示します。なお、ご本人(又は関係者)には、あらかじめお知らせします。</p> <p>賞 ①最優秀賞(福岡県知事賞) 1点 ②優秀賞 3点 ③佳作 10点 入賞者には、表彰状と副賞として記念品を授与します。学校などを通じて通知するとともに、後日各自治体へも入賞作品のポスターを作成し配布します。 なお、応募された方全員に参加賞を贈呈します。</p>	<p>小学生を対象とした「環境学習(環境出前授業)」</p> <p>1. 目的 県下の浄化槽地区を中心に、次世代を担う小学生を対象とした「環境学習授業」を行うことで、公共水域の保全に繋がる身近な生活排水の処理に対する認識を高めると共に、浄化槽の維持管理の必要性を啓発する。</p> <p>2. 内容 学習内容 ①地球上を旅している水 ②私たちの生活と水 ③水が汚れるとどうなるの? ④生活排水はどこに流れていくの? ⑤生活排水を流すとき気をつけること 簡易水質分析 ①透視度試験 ②化学的酸素要求量(COD) パックテスト まとめ(質疑応答)</p> <p>環境学習(出前授業)について 1. 実施機関: 公益財団法人 大分県環境管理協会 2. 対象地区: 浄化槽地区(公共下水道地区外) 3. 実施数: 18校 4. 学習形態 ①授業単位 1時限(45分) ②授業人数 1クラス単位 ③授業場所 理科室若しくは家庭科室 ④対象学年 小学校4年生以上 5. 学習内容 ①タイトル 私たちが流した生活排水はどうなるの ②学習内容 i 地球上を旅している水 ii 私たちの生活と水 iii 水が汚れるとどうなるの iv 生活排水はどこに流れていくの? v 生活排水を流すとき気を付けること ③簡易水質分析 i 透視度試験 ii 化学的酸素要求量(COD) パックテスト ④まとめ 5分 ⑤テキスト きれいな水のために</p>
事業実施期間	平成24.6.1 ~ 24.12.31	平成24.9.3~平成24.12.20
事業実施場所	福岡県庁ロビー、県内の行政機関等	大分市、別府市、佐伯市、宇佐市、津久見市、国東市(18~20校)
事業総額	586,900円	621,390円
助成金額	123,000円	200,000円

団 体 名	(社) 鹿児島県環境保全協会
代 表 者	会長 金子 万寿夫
所 在 地	鹿児島県鹿児島市宇宿 2-9-9
事 業 内 容	<p>合併処理浄化槽設置推進のための啓発活動</p> <p>1. 目的 西之表島（種子島）では、生活排水処理率が極めて低いため、平成 24 年度から浄化槽の設置補助金を増額して合併処理浄化槽の設置を促進することとしたので、当地の祭り等の会場において、来場した住民に対して合併処理浄化槽の設置について啓発活動を行う。</p> <p>2. 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽に関するパネルの展示</li> <li>・浄化槽の設置推進のリーフレット配布</li> <li>・浄化槽に関するクイズの実施</li> </ul>
事業実施期間	平成 24.9.1
事業実施場所	鹿児島県西之表市
事業総額	311,270円
助成金額	95,716円